

## 科学技術政策担当大臣と有識者議員との会合 議事概要

- 日 時 平成 21 年 12 月 17 日（木）10：00～11：00
- 場 所 合同庁舎 4 号館 742 会議室
- 出席者 津村政務官、相澤議員、本庶議員、奥村議員、今榮議員、青木議員、金澤議員、藤田政策統括官、梶田審議官、岩瀬審議官、大江田審議官
- 議事概要

### 議題 1. HIRO's ミーティングの出張報告について

#### ＜本庶議員説明＞

- （金澤議員） ◇ NIH のグラントの改革については、ベテランが通りにくくなって非常に困っているという話がある。これが本当にベストかどうかはよく見てみないとわからないのではないか。
- （本庶議員） ◇ 私の理解では、そのような問題点もあり改革が始まったと聞いている。しかし、まだスタートしたばかりで、結果検証は必要であろう。

### 議題 2. 最先端研究開発支援プログラムについて

#### ＜二村参事官説明＞

- （本庶議員） ◇ 資料には、金額等の精査は有識者議員が行うとあるが、これは誤解を招く。基本的に、精査は委託した外部機関で行い、担当議員はそれに対してアドバイスをするということではないか。
- （津村政務官） ◇ 委託先に精査を完全に委ねてしまうのではなく、最終的には有識者議員が精査をしたという形が必要ではないか。
- （藤田統括官） ◇ 精査結果が妥当かどうかという最終的な判断と、総額として 1000 億円に収めるための調整作業も有識者議員に行っていただくこととなる。
- （津村政務官） ◇ 各課題ごとに担当の有識者議員を一人だけ決めるのは、やりにくい部分もあるのではないか。例えば、メインの担当議員は当該分野に比較的近いけれども専門ではない方とし、サブの担当議員として専門の方についていただく形ではどうか。
- （奥村議員） ◇ 1 課題あたり 50 億円で出てくるものを、33 億円にしなければならない。そうすると、機器の価格の精査を積み上げただけでは足りずに、サブテーマを止めるなどの大胆な介入が必要になる。その際、あまり専門性のない人が判断するというのは、形の上ではオープンに見えるかもしれないが、問題が起きる可能性がある。
- （金澤議員） ◇ 外部機関においてプロの集団が精査するのだから、あえて専門性のある人を担当から外すかどうかということについては、こだわらなくていいのではないか。
- （相澤議員） ◇ 担当の有識者議員については複数制をとり、特に問題が起り得るような配置があれば、特段の注意を払うということとする。
- （津村政務官） ◇ いずれかの段階で、大臣や私もこれでいいという判断をしなければならないが、その際に、例えば、満額でいくケース、5% 切るときに何を切るかを示したケース、10% 切るときに何を切るかを示したケースというように優先順位をつけたものが委託先から戻ってくれば、議論がやりやすくなる。

- (本庶議員) ◇ 政務官の御指摘のとおりであり、したがって中心研究者へのヒアリングは、委託先で行うべきである。
- (藤田統括官) ◇ 中心研究者からヒアリングをする意味合いによるが、金額の調整作業に関わるようなことであれば、委託の範囲から外れるのではないか。
- (津村政務官) ◇ 最終的な金額の調整作業はこの場でやるとしても、十分な情報がなければそれもできないので、1次情報として、必要なら外部機関において中心研究者にヒアリングを行い、そのやりとりの情報を共有するという事ではないか。
- (相澤議員) ◇ そのやりとりを公開できるように資料を整理しておくことも重要である。

### 議題3. その他

- (相澤議員) ◇ 成長戦略の策定と総合科学技術会議の今後の関わり方について状況をお伺いしたい。
- (津村政務官) ◇ 15日に、従来の「骨太の方針」に代わる「予算編成の基本方針」が閣議決定された。その中に、雇用、景気、環境とともに科学技術が位置づけられており、総合科学技術会議の位置付けについても今後見直していくという記述がある。
- この「予算編成の基本方針」の延長線上に「成長戦略」という議論があるが、もともとは5、6月に出そうとしていたものを、新政権としての初の予算を示す機会なので、その骨格だけでも併せて示せないかということとなったもの。
- 昨日から各省のヒアリングも始まっており、環境、雇用、アジア、安心といったキーワードが出ている中で、私も科学技術をどのように位置づけていけるのか、科学技術担当としてプレゼンをしようと考えている。
- タイミングとしては、どんなに遅くとも年内には出そうということになっている。
- (本庶議員) ◇ 第4期科学技術基本計画の作成に向けた今後の進め方について、まとめていくプロセス、方向性をどうするかという議論を、集中的に進めていく必要があるのではないか。

(以 上)